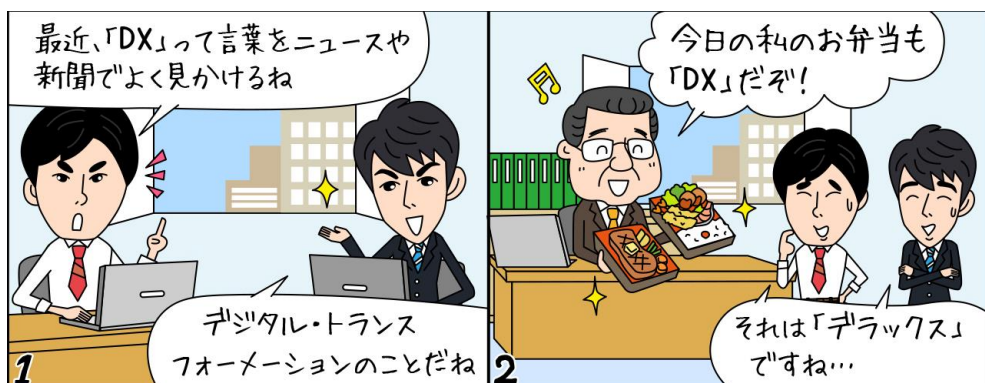


「新人目線」の用語解説

# 語句よみ

第224号



今回のテーマ **世界で広がる「デジタル・トランスフォーメーション」**

日興アセットマネジメントの新人。営業推進部門に配属され、投信や経済について勉強中。

近年、様々なモノやサービスのデジタル化が進んでおり、世界的なトレンドとして注目が集まっています。今回は、「デジタル・トランスフォーメーション」と「コンタクトレス・エコノミー」について、調べてみました。

## 1. デジタル・トランスフォーメーション

デジタル・トランスフォーメーションとは、「IT(情報技術)の浸透により、人々の生活やビジネスをあらゆる面でより良く変革させる」という概念のことを指します。2004年にスウェーデンで提唱されたもので、一般に「DX」と表されています。

近年、DXが世界的なトレンドとなっている背景の一つとして、「デジタル技術の飛躍的な向上」が挙げられます。DXの概念が誕生した当時は、スマートフォンなどのデバイスに加え、AI(人工知能)やクラウド、ビッグデータなどの高度なデジタル技術が未発達であったため、私たちの生活を一変させるほどの変革は起きにくい状態であったと考えられます。しかし近年では、AIなどの先進技術が発達し、それらを活用した便利なサービスが数多く出現しており、日々の生活やビジネスにおいて不可欠なものとなっています。

DXの代表的な事例として「テレワークによる働き方改革」が挙げられます。従来は、オフィスへ通勤しデスクで業務を行なうことが一般的でしたが、今では自宅やホテルなどに居ながら、資料作成や社内外関係者との打ち合わせを行なうことなどが可能となっています。働く場所が自由になったことで、通勤にかかる時間やストレスが

### ステップアップ

2018年に経済産業省が発表した「DXレポート」では、DX推進がうまく進まない場合、日本で2025年以降、年間最大12兆円の経済損失が発生すると試算しており、強い危機感を示しています。今後、民間だけでなく、政府も一体となったDX推進が期待されます。



(次のページへ続きます)

■当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目録見書)をご覧ください。

軽減され、通勤時間を気にせず居住地を選ぶことが可能になるなど、大きな変化をもたらしています。

企業にとってのDXは、業務効率化だけでなく、サービスの高度化にもつながります。例えば損害保険会社においては、保険契約者が事故を起こした車両の写真を撮影し保険会社に送るだけで、AIが画像を解析し、修理金額の見積もりをスピーディーに顧客へ伝えるサービスが始まっています。通常1~2週間かかっていた見積もり算出までの時間が、30秒程度に短縮されています。

## 2. コンタクトレス・エコノミー

DXが急拡大する契機となったのが、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大です。それ以降、不必要な接触機会を極力減らしつつ、生活やビジネスを行なう「コンタクトレス・エコノミー（非接触経済）」が重視され始めており、非接触型サービスへの関心が急速に高まっています。

それに伴ない、ショッピングや支払いなどのオンライン化が進んでいるほか、これまでにない新しいサービスが誕生しています。1つの例として、中国などで広がる「ライブコマース」が挙げられます。

ライブコマースは、スマートフォンなどを通じて、実演を交えた商品説明動画をオンライン上でライブ配信する手法です。従来は中高年層が客層の中心だった老舗の販売店において、ライブコマースの実施により若年層の客層が増加するなど、コンタクトレス・エコノミーによる変化が起きています。

また米国のシリコンバレーなどの地域では、「ロボットを活用した自動配送サービス」が始まっています。専用のアプリで日用品や飲食店の料理などの商品を注文すると、自宅やオフィスなどの指定した場所に、自動配送ロボットが商品を届けてくれるというサービスです。こうしたサービスは、GPSやセンサー技術などの発達により可能となっています。ロボットが配達してくれるため、人との接触機会が発生せず、コロナ禍における非接触ニーズに適した新しいサービスであると考えられます。

DX同様、こうしたコンタクトレス・エコノミーを支えているのは、AIやクラウドなどの先進的なテクノロジーであり、人々の暮らしをより便利に変革していくサービスを手掛ける企業などは、今後も大きな発展を遂げると期待されます。

DXは世界的なトレンドとなっており、今後もテクノロジーの発達とともに広がっていくと考えられます。今後、私たちの生活がどのように変化するのか、楽しみです。

 [facebook](#)  [twitter](#) で、経済、投資の最新情報をお届けしています。

### ステップアップ

「オンライン結婚式」という新しいサービスも誕生しています。従来、結婚式は大勢の人が一堂に会し、対面で祝うことが一般的でしたが、非接触ニーズの高まりに伴ない、オンラインで完結する新しい形の結婚式が行なわれるようになっていきます。オンライン結婚式のメリットとして、海外など離れた地域に住んでいる友人などが参加しやすくなるほか、現実には不可能な演出もCGなどを使って可能となるなど、オンラインならではの付加価値も生まれています。

